

GY総合カタログ (GY22-017J) の正誤表 及び 変更点

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

作成：2023/3/9

頁	誤	正
p8	GYMA：仕様の表、電圧出力の内容「(負荷抵抗：Max. 2kΩ)」	Min.
p20	GYcAT：ケーブルの表、4pin (緑) 「出力」	出力コモン
p21	GYcAT：型式⑧オプションの X8：8kHz サンプリング (ロッド全長：250mm以下)	300mm
p26 p28	GYPD/GYPS：CANopen出力の「分解能/繰返し精度」変更。 (現) 分解能：0.06mm 繰返し精度：±0.06mm以下	(新) 分解能：0.1mm 繰返し精度：±0.1mm以下
p27 p29	GYPD/GYPS：型式⑥ ケーブル取出しの型式を変更。 (現) RG□F： RG□A：	(新) SG□F： SG□A：
p39	GYPMR：型式③ 先端DZのマグネット「MG0」を削除。	
p46	GYcRP：外部寸法図の文章「*1：・・3001mm・・」	2001mm
p60	GYDC-S1：パラレル入出力コネクタ端子表のコメント (現) 標準：出力コネクタ単品付き (富士通コンポーネント社製 FCN-361J040-AU) オプション：3mケーブル付き出力コネクタ (型式：CN-DCS1-3)	(新) <別途 (有償)> ・出力コネクタ単品：型式 CN-DCS1-0 ・出力コネクタ付きケーブル3m：型式 CN-DCS1-3
p62	GYDC-05：外形寸法図、コントローラ図面のコメント (現) 出力コネクタ単品付き (住友3M製10136-3000PE) オプション：3mケーブル付き出力コネクタ (型式：CN-DC05-3)	(新) <別途 (有償)> ・出力コネクタ単品：型式 CN-DC05-0 ・出力コネクタ付きケーブル3m：型式 CN-DC05-3
p63	GYDC-05：型式⑩オプションに「P：PNP出力」を追記。	
p66	SSPC-03：外形寸法図、<I/Oコネクタ>のコメント (現) ・本体側コネクタ：住友3M製 10236-5212PL ・相手側コネクタ (付属)：住友3M製 10136-3000PE ・オプション：3mケーブル付き出力コネクタ	(新) ・本体側コネクタ：住友3M製 10236-5212PL <別途 (有償)> ・相手側コネクタ：型式 CN-DC05-0 ・出力コネクタ付きケーブル3m：型式 CN-DC05-3
p67	ST-SP323：仕様の表で動作電源と消費電力の内容を統合。 (現) 動作電源：+24VDC±10% 消費電力：約10W以下 (突入電流：800mA(1sec))	(新) +24VDC ±10% (20W以上) (突入電流：800mA(1sec))
p77 p78	IGY4/IGY3：フロートの表に3モデル追加「F40S, F30S, F50S」。	
p85	GYSE-Q-PF：型式④組み合わせマグネットのBPとFEの型式。 (誤) BP：No.5N-UK FE：No.5PFT-LG	BP：No.5PFT-LG FE：No.5N-UK
p96	GYKMR：型式⑤ デッドゾーンに記載の「TW」を削除。	
p97	GYKMR： 1) ■ロッドφ6型(記号:R)の図面にR8型時の情報を追加。 ① 有効ストローク ② 20 ③ 「有効ストローク+171」の下に追記 ④ M5 x 0.8 ⑤ センサーロッド径φ6 ⑥ Min.16 2) ■フローティングマグネットTW型の図のマグネット「TS」 3) p97/p98の先端DZ注釈(※70)を削除。	① ロッドストローク=有効ストローク+10 ② 20 (R8型は 23) ③ (R8型は有効ストローク+174) ④ M5 x 0.8 または M8 x 1.25 ⑤ ロッド径φ6 (R8型はφ8) ⑥ Min. 16 (R8型は 19)
p119	1) フロートの表の「名称」の記載内容が不足。 ① φ28 ⑤ φ40 ② φ50 ⑥ φ54 ③ φ43 ⑦ RF-A6 ④ φ30 ⑧ RF-A10 2) フロート 記号F40Sの仕様の材質「SUS316L」 3) 表のフロートストッパーにある「T16-M3」を削除。	① φ28SUS316L ⑤ φ40SUS316(B) ② φ50SUS316L ⑥ φ54SUS304 ③ φ43SUS316L ⑦ RF-A6 (NBRφ28) ④ φ30SUS316L ⑧ RF-A10 (NBRφ25)
p122	ケーブル3：型式①、④、⑥の「GYKMR8」 ケーブル3：型式⑥「GYSE8-P」	GYKMR-8P GYSE-8P